

●刈払作業前に空缶等を片付けよう

なぜ？

草むらの中に空缶等があると、飛んできて怪我をすることがあります。

ヒヤリ、事故

1. 畦畔の草刈中、木片が飛んできて足にあたり、数日痛かった。
2. ぶどう園の下草刈作業中に棚の針金が飛んで、長靴を通して左足に刺さり負傷した。
3. 草むらの中に大きな石があり、刃が欠けて目に飛び込んできた。

そこで…

対策ポイント

刈払作業の前に、あらかじめ異物を取り除いてから作業しましょう。

1. 木の枝、空き缶、石等を取り除きます。
2. 刈刃に巻きつきそうなテープ、針金等も取り除きます。
3. 測量杭等の除去できないものへ目印を付けます。



さらに！

追加のヒント

1. 飛散物防護カバーを後ろへずらしたり、取り外すのは危険です。
2. 手袋、安全靴、保護メガネ等、適切な保護具を着用します。
3. 飛散した石等は、周囲の車、人に当たることもあるため、相手との距離を充分とり(15m以上)、作業方向にも配慮し作業します。
4. 草丈が高い場合には、上下2段に刈り取ることも有効です。
5. 木の枝を切ると刈刃が跳ね返される危険性があります。ツルを切ると刈刃に巻き付きトラブルを起こす危険性もあります。事前にノギリや鎌で切り取ります。